資料４

事業報告
「かぎ預かり事業の実践と課題」

苫小牧市社会福祉協議会
地域福祉課　地域福祉第1係

苫小牧市社会福祉協議会

かぎ預かり事業

もしもの時に、鍵を預けて備える安心！

「かぎ預かり事業」ってどんな事業？

かぎ預かり事業は、もしものときに備えて、自宅の鍵を地域の協力施設にてお預かりします。連絡がとれないときに、あらかじめ登録した協力員が鍵を使って自宅を確認し、安否をいち早く確かめてくれる安心の仕組みです。

＼POINT１／

暮らしの安心と緊急時の支援

鍵を通して、万一の際の安否確認と、在宅生活が続けられるように支援することが目的です。

＼POINT２／

鍵は近くの協力施設に

ご自宅の鍵を、ご自宅の近くにある協力施設（市内12か所）にてお預かりします。

＼POINT３／

地域の協力者の支援

かぎ預かり事業は、協力施設に鍵を取りに行っていただく事業協力員が必要です。

対象

① 75歳以上の単身世帯
② 身寄りがない、身寄りが遠方で鍵を預けられない方
③ 認知機能の低下や障がいにより事業の必要がある方

注意事項

かぎ預かり事業は**ご本人様及びご家族様の同意**が必要になります。
お申し込みは、ご家族や支援関係者とも相談の上お申し込みをお願いします。

問い合わせ先
苫小牧市社会福祉協議会
地域福祉課　地域福祉第1係　☎ 0144-84-6635

ホームページはこちらから！

かぎ預かり事業のご利用にあたって

かぎ預かり事業は、ご本人様やご家族様と契約を結び、ご自宅の鍵を本会と協定を結んだ福祉施設等でお預かりし、安否確認ができない時にお預かりした鍵を使用して、ご自宅に入り安否確認を行います。

ご利用にあたり、ご本人様とつながりのある**「事業協力員」**に、ご自宅の鍵を取りに行っていただくことをお願いしています。

1 申込みについて

① 申込みは、ご本人様およびご家族様の同意が必要です。
② **緊急連絡先、事業協力員の登録が必要になります。**
③ 申し込みにあたり、社会福祉協議会職員と事前面談を行います。面談終了後、ご自宅の鍵をお預かりします。

2 事業協力員について

ご本人様の安否確認ができない場合、**協力施設まで鍵を取りに行き、ご本人様の自宅の確認をしていただける方の協力をお願いしています。**

ご本人のことを良く知る方にご協力をお願いしています。

3 緊急時の安否確認

① 郵便物や新聞が溜まっている
② 洗濯物が何日も干しっぱなし
③ 部屋の電気が付きっぱなし、何日も付いた気配がない
④ 福祉サービス利用時に応答がない

このような事態が見られた場合、緊急事態と判断し、お預かりした鍵を使用して室内に入り、安否確認を行います。

4 変更時のご連絡

① 3日以上家を空ける場合（旅行、入院など）は、あらかじめご連絡ください。
② 緊急連絡先の変更、支援関係者の変更などがありましたら、ご連絡をお願いします。

ご利用にあたり、ご不明点などがありましたら、苫小牧市社会福祉協議会
地域福祉課 地域福祉第１係まで連絡をください。
TEL　0144-84-6635

1

事業開始となった背景

平成29年の苫小牧市の状況として
- 一人暮らしの高齢者の増加
- 身寄りのない方の増加
- 自分に何かあったら不安なので、鍵を預かってほしい

などの相談が散見していました。

また、地域住民からは、異変があっても誰に何を相談して

いいかわからない事例が多くみられました。

こうした課題に対し、

地域の絆づくりなどを基本とした見守りの仕組みとして、

大阪府寝屋川市社会福祉協議会で行っていたを参考に、

2か所の町内会をモデルに事業を開始しました。

かぎ預かり
事業実績

平成29年～令和8年5月末

累計申請件数　121件
利用終了者数　　74件
現在利用者　　47件
協力施設数　　12施設

かぎ持ち出し実績
延べ34回（20世帯）

支援者間で「備え」が共有されることで、
早期発見・早期対応の意識づけにもつながっています。

かぎ預かり事業が地域にもたらした効果

1

他サービスとの連携強化
（配食サービス・訪問介護・愛の一声運動など）

2

地域住民が見守りの担い手となる仕組みづくり・互助の推進

3

緊急時の対応判断など、支援者の心理的・実務的負担の軽減

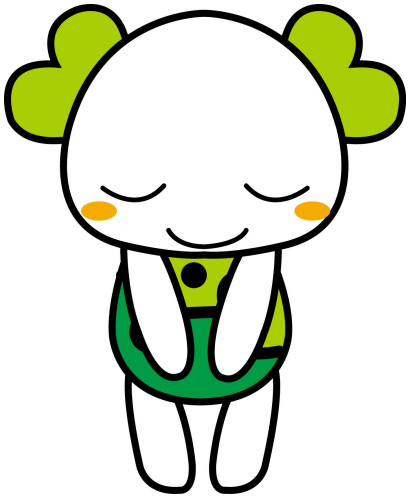
事業課題と今後の展開

苫小牧市で展開する「緊急通報システム」との相互補完的な役割展開

身寄りのいない利用希望者の相談対応と支援機関の連携

事業協力員の確保にかかわる課題

負担のかかりにくい協力対応

休日、祝日の緊急対応

ご清聴ありがとうございました。